



女性の活躍推進 シンポジウム

報告書



講演会

2階多目的ホール 13:30~14:40



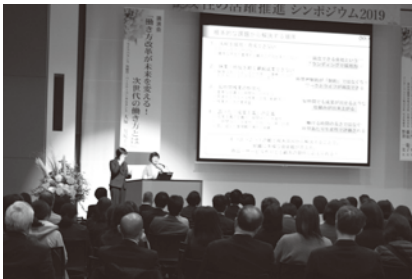
「働き方改革が未来を変える！ 次世代の働き方とは」

株式会社ワーク・ライフバランス 取締役・パートナーコンサルタント
大塚 万紀子さん



今、日本全体が働き方を変えなければいけない過渡期にきています。その中で見直されているのが、ワークライフバランスです。ワークライフバランスは、仕事と家庭のバランスと見なされがちですが、正しくは仕事と育児・介護・自己啓発・看護・運動とのバランスを指し、働く全ての人々がワークとライフを両立でき、シナジーが起きていくような仕組みを作っていくことが本髄です。企業がワークライフバランスを整えることは、次のイノベーションを生み出し、業績を高めるための改革と言えます。

国が働き方改革を推し進める背景には、先進国の中でも長時間労働をする割合が高いのに対し、それに見合った生産という成果を生み出せていない現状があります。この要因の一つには、人口構造が挙げられます。



現在の日本は、働き手の数に対して高齢者の数が多く、人口構造が経済の負担となる人口オーナス期と呼ばれる時期に入っています。1960年代

～1990年代半ばまでは、働き手の割合が高く、人口構造が経済にプラスになる人口ボーナス期だったのですが、人口構造が変化し、女性活躍推進や少子化対策への遅れ等により、急速に人口オーナス期に移行したのです。

かつては、働き手の中心は男性で、長時間労働が良しとされ、多様性を排除した人材を揃えることが勝ちパターンとされていました。しかし今は、男女共に働くことが必要とされる時代です。人件費も高騰しており、労働基準法の改正により残業時間の上限が法律で定められたことから、なるべく短時間労働で効率的に成果を出していくことがポイントになります。仕事に時間制約を持つことは女性だけのネガティブ要素ではありません。今後は男女問わず、介護を担う方が増えてくると予測されているからです。様々な人材に活躍してもらうことで、進化をしていく仕組みが必要です。

まずは、従来の評価基準を見直すことから始めましょう。そして、短時間でも成果を出せる仕組みを築き、働く人へ新しい報酬としてワークとライフの両立を提供できれば、人材の確保・定着へと結びついていくはずです。

変化のタイミングは待たないのところでできています。女性だけでなく、その周囲の環境も変えていかなければなりません。ワークライフバランスは経営戦略です。積極的に取り組んで、勝てる組織と充実した人生を作っていきましょう。

ロールモデル写真展



土田 鐘子さん
(有限会社住まい工房S 一級建築士事務所 主宰)
設計事務所、ハウスメーカー勤務などを経て、2004年に住まい工房S 一級建築士事務所を開業。多数の資格を持つほか、自身の経験をもとに女性起業向けのコンサルタント等で女性の活躍を後押ししている。



木村 綾子さん
(秋田市消防団本部 班長)
2006年に秋田市初の女性消防団員の一人として入団。育児経験を活かし、幼稚園や保育園での防災教室や救命講習に取り組む。2018年の秋田県消防操法大会では、軽可搬ポンプ操法の部で優秀選手賞を受賞。



糸井 ミユキさん
(NPO法人秋田育さば ドリームエンジェル 理事長)
バスガイド、ラジオパーソナリティなどを経て、2013年にNPO法人秋田育さば ドリームエンジェルを設立。現在体験型サロンを運営するほか、子どもの古着リサイクル、託児事業、親子遠足等を展開。



野澤 一美さん
(インターフェイス株式会社 代表取締役)
アメリカの大学に通いながら、臨床試験受託機関に勤務。その後アメリカでコンサルタントとして独立。秋田に移住し、2006年に化粧品やサプリメントなどの臨床試験を行うインターフェイス株式会社を起業。



藤原 聡子さん
(秋田印刷製本株式会社 企画室室長)
テレビ局で番組制作に携わった後、イギリスへ留学。2013年に秋田印刷製本株式会社に入社後、秋田米の販売事業で企画デザインを担当し、お米を使ったカフェ「R table(アールテーブル)」を手がけた。

分科会 1 報告編

2 階多目的ホール 14:50~15:20

秋田市の女性活躍推進に関する状況調査と分析

～秋田大学連携パイロットリサーチプロジェクト報告～



秋田大学教育文化学部 准教授

白木 智昭さん

秋田市内では、女性の有業率・正規雇用率が高く、20代から30代での離職率が全国平均レベルであり、長期にわたり仕事を続ける環境づくりができつつあります。しかし、管理職に適した年代である50代以降の有業率は低く、それが女性管理職比率の低さの遠因となっていると考えられます。そのため、女性が50代以降も活躍できる環境を考慮することが、秋田市内の企業における女性活躍推進の1つのポイントになると推察されます。

次に、秋田大学の学生を対象に行ったアンケート調査結果から「男女就業や男女の役割に対する若者の意識」を見てみると、男女

問わず女性の就業に対しては肯定的、男女の役割分担には

否定的な回答が多く、女性活躍に対する理解は浸透している状況です。一方で、育児・介護等に対する企業側のサポート面へ高い関心を持っており、就業継続のためには企業の支援拡充が課題になると言えます。また、ワークライフバランスへの関心も高いというのが若者世代の特徴で、仕事や業務の内容を重視する傾向にあります。特に女性は「人間関係」「休暇の取りやすさ」「育児・介護等への支援」など、職場の雰囲気や働きやすさを重視する傾向があります。

人口減少・高齢化により、今後企業の人手不足は常態化していくと予測され、新卒者の確保が難しくなることが見込まれます。新卒者の確保には、こうした特徴・傾向へ配慮して採用活動を行いましょう。



分科会 1 トーク編

2 階多目的ホール 15:20~16:30

市内企業で活躍する女性のロールモデルトーク&交流会



秋田印刷製本株式会社 代表取締役社長

大門 一平さん

当社が目指すのは、ダイバーシティ企業です。男性・女性それぞれの特質を活かし、社内の垣根を取り除いて、誰もが働きやすい環境を作りたいと考えています。

社員1人1人の良いところを見つけそれぞれが能力を発揮できるよう、私と社員全員との面接を実施しています。その結果、社内の風通しが良くなったという社員の評価が増えました。男性と女性に対立するのではなく、会話を通じてお互いを認め合っていかなければ、女性活躍推進は進まないでしょう。男女・正社員・パート社員問わず、どんな立場であっても社員がお互いに尊重しあえるようにしていきたいと思っています。



秋田印刷製本株式会社 企画室室長

藤原 聡子さん

印刷会社ではありますが、秋田米の販売事業や、2018年には自社のお米を使ったメニューや米粉を使ったスイーツを提供するカフェ「R table」をオープンしました。スタッフがほぼ女性というチームで協働して感じるの、皆パートや時短といった勤務形態などの概念にこだわっていないということです。それぞれが積極的にできることを進めてくれて、それがお互いに良い相乗効果を生み出しているように思います。

私自身の働き方では、イギリス留学で得た「当たり前ものが当たり前じゃない」という視点が生きていると思います。行動して経験するプロセス自体が学びだと思いますので、これからもチャレンジを続け、常に成長していきたいです。



インターフェイス株式会社 代表取締役

野澤 一美さん



女性は相手の心の満足度に気配りできる方が多いと思います。当社の主な業務は化粧品がお肌に有効かを科学的にデータをとることで、化粧品を試していただくモニターさんがいなければ成り立ちません。研究職というよりもサービスの要素が大きいこともあり、現在社員の9割以上は女性です。いい人材に巡り会えることは少ないので、優秀な人材は絶対に手放さないということを心に決めていて、そうした社員が働き続けたいと望んだ時には、どうしたら良いかを一緒に考え、できる限りのことをしています。

実際に子連れ出勤や在宅勤務、時短勤務、海外でのリモートワークと、多くの社員が成果を出しています。今後も引き続き働きやすい環境づくりを行なっていきたいです。

分科会 2

1 階音楽交流室 D
14:50~16:30

建設女子会&交流会

「建設女子のさらなる活躍のために」

コーディネーター

フリーアナウンサー 武藤 綾子さん



(一社)雄勝建設業協会女性部会「はなこまち」の取組紹介と、県中部に2019年に設立された建設業に就労する女性の会を中心に、参加者同士のワークショップを行いました。



2日目 2019年11月9日(土) 1階きらめき広場

女性活躍! きらめきマルシェ

オープニング演奏

トリオkomachi♡



地域で活躍する女性ロールモデルトーク



NPO法人秋田育さぼ ドリームエンジェル理事長 糸井 ミユキさん
秋田市消防団本部班長 木村 綾子さん

女性の手による 秋田のクラフト



秋田公立美術工芸短期大学・
秋田公立美術大学
卒業生作家の紹介、
作品展示



講師:男の家事教室「カジオス」代表
尾上 元彦さん

女性起業家によるワークショップ



6団体

女性による開発商品紹介 販売コーナー



11団体

女性活躍企業・団体PRコーナー



5団体

OUTDOOR X LOGICAL LIFE

男性対象
連続講座



ロジカルな掃除で日常をグレードアップ

親子であそべるコーナー



NPO法人ファザリングジャパン東北

集まれ!未来の建築士 ワークショップ

中高生対象



講師:有限会社住まい工房S
一級建築士事務所 主宰
土田 鐘子さん



ローストビーフ丼を作る +
ロジカルな掃除を実践する



2018

会場：秋田拠点センターアルヴェ

1日目

2018年11月9日(金)



講演会

2階多目的ホール 14:30~15:40



「もっと女性が活躍できる職場環境を目指して ～組織でできること、女性に知っておいてほしいこと～」

株式会社CHANCE for ONE 代表取締役社長 女性活躍推進コンサルタント

清水 レナさん

現在、日本国内の労働人口は、全体の人口減少よりも速いスピードで減っています。従来の労働人口は男性が中心となって成り立ってきましたが、今後は人口の半分を占める女性が活躍できないようでは、企業経営が成り立たなくなるという状況です。現在の女性活躍推進は、女性のためだけの課題ではありません。あらゆる人に活躍してもらうための、労働力維持・向上を目的とした国や企業が生き残っていくための成長戦略であり、取り組むべき課題となっています。

ただし、単に女性社員が増えれば良いということではなく、管理職に女性を登用していくことが必要です。これは、管理職に女性を登用することで経営やビジネスに女性の意見が届きやすくなり、結果あらゆる女性たちが活躍できるような職場環境の実現につながるためです。

女性の管理職率が上昇しない背景には、女性の本格的な採用からの歴史が浅く、管理職となりうる母集団が十分に育っていないことが挙げられます。管理職になるための要件として、正規社員であること、総合職であること、本人に昇進意欲があ

ることの3つがありますが、この全てを満たす女性は非常に少ないというのが問題です。

中でも特に重要なのが昇進意欲の面です。入社時は男女共にほぼ同じ割合で昇進意欲を持っているのですが、管理職適正年齢の時点になると、男性の数値はほぼ変わらず、女性のみ昇進意欲をもつ割合が下がります。これは、女性は結婚や出産などのライフイベントをきっかけに働く時間制約が出てきた中で、働き続けることの難しさを感じ、昇進意欲が失われてしまうと推察できます。

女性の管理職を増やすためにまず取り組むべき対象は、昇進意欲があるけれども時間制限がある女性です。そうした女性たちが意欲や能力を発揮し、管理職を担えるように職場風土や制度を整えていくことが重要です。これからは男性においても子育てや介護のために時間制限が多くなってくと予測できます。時間制限がある女性が活躍できるようになることは、あらゆる人々がキャリアとライフを両立できる職場環境づくりへと結び付きます。女性活躍推進のゴールは、意欲のある全ての人々が活躍できる組織、社会を作ることです。

ロールモデル写真展



中村 順子さん
(秋田大学大学院 教授)

秋田大学大学院教授として地域生活支援看護学の研究、後進の指導にあたる傍ら、最後まで自分らしく生きることを大切に考えたホームホスピスの開設など、地域での活動にも取り組む。「地域包括ケア・介護予防研修センター」センター長/NPO法人ホームホスピス秋田副理事長/日本女性会議2016秋田実行委員会委員長、秋田市男女共生推進会議会長



株式会社北都銀行 女子バドミントン部



(左から) 米元 小春さん 田中 志穂さん
永原 和可那さん 松本 麻佑さん

「ヨネタナ」「ナガマツ」の愛称で親しまれている日本を代表するバドミントン女子ダブルスペア。米元・田中ペアは、2017年12月、国際大会の最高峰の一つBWFワールドシリーズファイナルズ女子ダブルスで初優勝。(秋田県県民栄誉章、秋田ふるさと市民賞受賞)
永原・松本ペアは、2018年8月、世界選手権女子ダブルスで初優勝。(秋田県県民栄誉章、秋田ふるさと市民賞受賞)同大会では米元・田中ペアも3位に輝いた。北都銀行女子バドミントン部に所属し、世界で活躍、2020年東京五輪への出場が期待されている。



竹下 香織さん
(オルウィーブ合同会社 代表社員)

秋田のがんばる女性のための会員制クラブ「Venus Club(ヴィーナスクラブ)」主宰。起業・就業や、新しい働き方、生き方の提案など人材育成、キャリア支援を行っている。



高嶋 亜希子さん
(株式会社サノ)

秋田県産の食材を利用した健康食品の研究開発に取り組む。ジュンサイと酒粕を配合したサプリメント「濁彩小町(じゅんさいこまち)」を開発。



井上 亜衣さん
(株式会社秋田銀行)

自身も仕事と家庭、子育てとの両立に取り組みながら、人事部で女性活躍推進担当として、行員の両立支援やキャリア意識の醸成、ネットワークづくりなどを推進している。

ロールモデルトーク & 交流会

2階多目的ホール 15:50~17:00



コーディネーター オルウィーヴ合同会社 代表社員

竹下 香織さん

短大卒業後、銀行に17年勤めました。転職でつまづいた経験から女性の生き方、働き方に関心を持ち、どう人生を立て直すかを考えながら動く中で、様々な人との繋がりが生まれ、40歳でNPO法人を、2年後に会社を立ち上げました。5年前からは「Venus Club」を運営し、秋田でイキイキとがんばる女性同士がつながるきっかけづくりを進めています。



パネリスト 株式会社サノ 食品開発担当

高嶋 亜希子さん

3年前に立ち上がった食品開発事業を担当し、サプリメントの「潤彩小町」を開発しました。医薬品の卸売業がメインの会社なので、当初は周りの社員にもあまり理解されていない状況の中、ほぼ1人で商品化から販売まで行ってきました。

困難や問題はたくさんありましたが、商品化できたのは、モニター試験等でたくさんの方に協力・応援をいただき、繋がりのありがたさをモチベーションに変えることができたからです。また、サプリメントがいいものだという自信があったので、その良さを知ってもらえるよう努力したことも大きかったと思います。

販売面では、県内での売上を上げるために、全く経験がない飛び込み営業にも行きました。門前払いされることもあって大変でしたが、十数軒回ったら話を聞いてくれる会社があり、「面白い、やってみましょう」とおっしゃっていただいたんです。商品を買ってもらえることが本当に嬉しくて。何でもやってみなければ分からないなと思いました。今後も食品開発を通じて、秋田県の良いところを全国に発信していきたいです。



パネリスト 株式会社秋田銀行 人事部

井上 亜衣さん

窓口業務に憧れを持って入行したものの、担当になったのは融資係でした。最初は気持ちが追いつかなかったのですが、当時の上司がいろんな仕事をさせてくれて、必ず褒めてくださる方でした。与えられた機会の中で育ててもらうちに、やりがいや達成感を感じるようになっていました。

これまで1番大変だったのは、育休を終えて復職した時です。担当する係が変わり、新しいことを覚えなきゃいけない。慣れない育児。不安やもどかしさの中で両立のバランスを取りづらくなっていた時、夫の両親がサポートしてくれ、そこから周囲に頼れるようになりました。頼ることでお互いの仲も深まったような気がしています。

現在は人事部に異動し、女性活躍推進の担当として行員がやりがいを持ち働ける環境づくりを行なっています。自分の強みは「強い人間じゃない」ところだと思っています。小さなことでつまづいたりすることのある私と同じように、悩みながら働いている方たちがいると思うので、そうした方たちの気持ちを理解できるようにしていきたいです。

女性活躍! きらめきマルシェ

2日目 2018年11月10日(土)

1階きらめき広場

ステージトーク

- ・女性のための防災カフェ
- ・毎日できる!カラダの中から綺麗になる方法
- ・子連れの防災カフェ



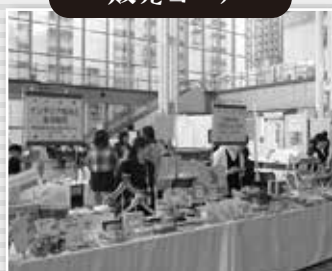
エンパワメント実践講座

- ・自分をみとめて自分が変わろう
- ・和アートで心のマッサージ

女性起業家によるワークショップ



女性による開発商品紹介販売コーナー



女性活躍企業・団体PRコーナー



男性の料理教室

- ・テッテの巻き寿司を作ろう
- ・スイーツ男子生まれ!アイシングクッキーで思いを伝えよう



主催:秋田市女性の活躍推進シンポジウム実行委員会・秋田市
会場:秋田拠点センターアルヴェ

※肩書きは2017年開催当時のものです。

2017年11月25日(土)

シンポジウム

2階多目的ホール
13:30~15:00

「ダイバーシティの推進と新しい働き方を目指して」

働き手が少なくなる中、女性や育児・介護を抱えている人も仕事を続けて行く必要があります。上司は部下の育児・介護の有無などプライベートを把握しましょう。

【イクボスの実践!】

会議の回数や参加者数を減らす、資料を簡素化するなどして残業を減らし、プライベートの時間を充実させることで、アイディアの幅が広がり、良い仕事につながっていきます。



三井物産の系列上場会社前社長
NPO 法人ファザージング・
ジャパン理事
川島 高之さん



マックスパリュ東北株式会社 代表取締役社長
佐々木 智佳子さん

住友生命保険相互会社秋田支社 支社長
長代 良子さん



分科会 1

2階多目的ホール
15:15~16:45

「誰もが働きやすい職場制度」

女性が少ない現場で、女性が働くことで気づいたみんなが感じる不便さを、高齢者も女性もみんなが働きやすい職場にかえていこうとしている事例や、国の認証制度を積極的に取得し、職場価値を高めようと取り組んでいる事例などが紹介されました。

- | | |
|-----------------------|---------|
| 株式会社あきた総研 代表取締役 | 須田 紘彬さん |
| 秋田県北部男女共同参画センター センター長 | 成田 貞子さん |
| 秋田製錬株式会社 総務部総括主任 | 三浦 隆宏さん |
| 秋田酒類製造株式会社 製造部係長 | 富岡 浩子さん |

分科会 2

1階音楽交流室 D
15:15~16:45

「女性のキャリアデザイン~私らしい働き方・生き方~」



「私らしく」を実践するために心がけていることとして、常に何かにチャレンジする、感謝する気持ちを持つこと、尊敬する上司をロールモデルとして自分の目標としていることなどが紹介されました。

- | | |
|---------------------------|----------|
| Venus Club 仙台支部 代表 | 竹下 小百合さん |
| 合同会社のら 代表社員(ヘルシーカフェのら 店主) | 新井 純子さん |
| 株式会社北都銀行泉支店 支店長 | 丸谷 雅子さん |
| 有限会社住まい工房 S 一級建築士事務所 主宰 | 土田 鐘子さん |

女性活躍! きらめきマルシェ

1階きらめき広場

体験コーナー

- キャリアアップ
 - ・職業適性診断「あなたの強み、再発見」
 - ・アサーティブカフェ「伝わる話し方のコツ」
 - ・ヴィーナスクラブ「女性のチャレンジをサポート」
- イメージアップ
 - ・「素敵なお私」発見!洋服&アクセサリー診断
 - ・HAPPY ネイルケア
 - ・魅力を引き出すメイクレッスン
 - ・ポストカード(制作体験)、
 - ・ハンドメイド雑貨(手芸体験)ほか
- ヘルスアップ
 - ・癒しと健康! ハンドマッサージ、腸タイプ診断
 - ・魅力upウォーキング&エクササイズ
- 親子で体験
 - ・パパと遊ぼう! 段ボール迷路、絵本ライブ ほか
 - ・人権ってなあに?
 - ・お金について考えよう
 - ・和アート体験

女性による開発商品紹介
販売コーナー



秋田市 女性活躍推進事業

目的

女性活躍推進法に基づき、職業生活と家庭生活との両立および一人ひとりが個性や能力を發揮できる環境づくりを一層推進し、女性の活躍を推進する。

第5次秋田市男女共生社会への市民行動計画【平成30年度～令和4年度】

基本理念 お互いの人権を尊重し、一人ひとりが個性や能力を十分に發揮できる多様性を認めあう社会の実現

基本目標 1

性別によって役割が決まることのない、みんなが共生できるまち

基本目標 2

みんなの人権が尊重され、誰もが尊厳を持って生きることができるまち

基本目標 3

みんなが個性と能力を發揮する多様性に富んだ活力あるまち

秋田市女性活躍推進計画
(女性活躍推進法)

基本目標 4

誰もが自分らしく暮らすことができ、みんなで支えあうまち

女性の活躍推進 シンポジウム



働く女性の仕事と家庭生活の両立や、女性の能力を發揮できる職場環境づくりを一層推進するため、シンポジウムを開催し、女性活躍に関する情報発信や働く女性の交流を進めています。

※令和2年度からは「女性も男性も活躍推進シンポジウム」に名称を変更し、より男性を巻き込んだ意識啓発を進めていきます!!



1 あらゆる分野における女性の活躍推進

- ① 政策・方針決定の場への参画に向けた学びの機会の充実
- ② 政策・方針決定の場への女性の参画推進

ウーマンワーク・ラボ キャリアデザインセミナー

女性管理職の登用促進を図るため、「リーダーコース」と「中堅コース」のコース別で、いきいきと働き続けるための意欲を高めるワークショップ形式のキャリア研修です。



2 就業と労働環境の向上

- ① 男女の雇用機会均等の促進
- ② 多様な働き方を可能にする労働環境の整備

秋田市なでしこ環境整備補助金

秋田市元気な子どものまちづくり認定企業を対象に、女性が働きやすい職場環境の整備に係る費用の一部を補助します。

【お問合せ】秋田市産業振興部企業立地雇用課 TEL.018-888-5734

3 仕事と家庭生活の両立

- ① 仕事と子育て・介護などの両立
- ② 生活上の困難を抱える世帯への支援

ウーマンワーク・ラボ キャリアデザインカフェ

育児休業中や育児をしながら再就職をめざす女性向けに、キャリアコンサルタントによる相談会と、セミナーを組み合わせた「キャリアデザインカフェ」を開催しています。



秋田市元気な子どものまちづくり 企業認定・表彰制度

「仕事と子育ての両立」や「子育てにやさしい活動」に取り組む秋田市内の企業を認定し、特に優れた取り組みをしている企業を表彰します。

【お問合せ】秋田市子ども未来部子ども総務課 TEL.018-888-5687



秋田市 市民生活部 生活総務課 女性活躍推進担当

TEL.018-888-5650 FAX.018-888-5651 Email danjyo@danjyo.akita.akita.jp